



※定住外国人子ども奨学金ニュースレターWeb版は個人情報などの都合上、内容を一部変更しています。

第 15 期生の選考を終えて

新型コロナウイルスの影響は次第に収まりつつありますが、まだまだ予断を許さない状況が続いております。また、世界情勢の急激な変化により不安な日々が続いておりますが、みなさま、お変わりなくお過ごしてでしょうか。

2021 年 4 月 4 日(日)午後、樋口委員長、N 委員、及び私の 3 名で第 15 期奨学生の面接試験を行いました。今回もこれまでと同様、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、マスクを着用しての対面式で面接試験を行いました。その結果、中国(女子 2 名)、香港(女子 1 名)にルーツをもつ高校生 3 名を、奨学生として採用することに決定いたしました。

今回は 21 名という多数の応募がありました。まず、書類選考により 7 名が選ばれ、その後の面接試験を経て上記 3 名の採用が決まりました。3 名とも成績優秀で、またボランティア活動にも積極的に取り組みたいとの姿勢を示すなど、面接の中で高校生活の中でチャレンジしたいことや将来のビジョンを明確に示してくれました。結果として、その点が他の志願者との大きな差になったように思われます。いろいろ議論はありましたが、最終的に将来のロールモデルとして大変期待できる人材であるという点で審査委員の意見が一致しました。

他方、志願者の中には家庭環境・学習環境に困難を抱える者もおり、奨学金事業の趣旨からしてもそのような生徒も積極的に支援していく必要があるのではないかとの意見もあがり、採用基準については委員会として今後検討をする必要があるように感じました。

昨年度はオンラインイベントの開催を試みましたが、今年はそれと並行して恒例のカンタービレ・コンサートの開催も検討されているようです。とはいえ、引き続きコロナ情勢を見極めながらの難しい判断が求められるでしょう。まだまだ厳しい環境下にあります。今後とも当奨学金事業へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(実行委員 T.S.)

～今後のイベント予定～

2022年12月18日(土) KOBECカンタービレ・コンサート 於 神戸市立長田区文化センター別館(ピフレホール)
今年は、対面でコンサート行います!奨学生も登壇しますので、ぜひご予約ください!

奨学生からのメッセージ

Kさん(15期生)

1.自己紹介

私の名前は黄 海希子です。お母さんが日本人で、お父さんが中国人です。私には弟が1人いて、5歳から2021の年までの10年間、香港で暮らしていました。日本に帰ってきて、H中学校に通い始めました。最初の頃は勉強についていけず、大変な思いをしました。ですが、慣れない環境のなかで勉強をがんばり、周りの応援にも後押しされ、M高校に合格することができました。これからも頑張りたいと思います。

2.高校入学後にしてみたいこと

私は高校に入ってから、勉強を引き続き頑張り、良い成績を取りたいと思っています。そして勉強と部活動を両立し、文武両道を目指したいと思います。部活動は弦楽部か運動部のどちらに入部するか迷っています。

高校に通い始めてからまだ一週間ですが、担任の先生が優しい上に、学校の雰囲気も、クラスの雰囲気も良く、楽しくてワクワクしています。これからの3年間はすごく楽しみです。

3.将来の夢

私の将来の夢は弁護士になることです。なので、大学は国公立大学に進学し、法学部に行きたいと思っています。私は今、4つの言語を喋ることが出来ます。それは日本語、中国語、英語と広東語です。この語学力を活かして、言葉の壁で助けを求めることができない人の力になりたいと思っています。ルーツの違いを超えて、できるだけ多くの人の声に耳を傾け、日本語がわからず困っている人の役に立ちたいです。

Rさん(15期生)

1.自己紹介

ルーツのある国は中国で、4人家族です。

これまでの生活は、部活と勉強の両立した生活で、家族全員仲良いです。中学校では、3年間クラスの委員長を務めており、高校も一学期から早速クラス委員長を務めました。

興味関心のあることは、動画や写真を、見たり作ったり撮るのが好きです。部活も写真部に入るが目標で、部活と勉強両立するように頑張りたいと思います。

また音楽を聴くのが好きで、休日とかによく聞きます。

2.高校入学後にしてみたいこと

高校に進学して、勉強は学年のトップに入れるようにがんばることと、部活の両立を目指してがんばろうと思います。

友人関係は、男女関係なく仲良くなれ、今は5月にある校外学習のためにプランを考えているところです。

今後は、生徒会に入ることや、委員会活動に積極的に取り組もうと思っています。

3.将来の夢

将来の夢は、商品開発、企画提案などに携わる企画職に就くことです。まだまだ具体的なことはしっかり決まっておらず、これからの高校3年間で学校の特色を生かしながら将来の事を考えようと思っています。

L さん(15 期生)

1. 自己紹介

こんにちは。私は三年前に中国から日本に来て、中学校へ入学しました。中学校ではバトミントンをしていて、生徒会執行部で厚生総務を務めていました。

私は明るくて、ポジティブな性格の持ち主です。空気を読むのが苦手ですが、喋ることや話を聞くことが大好きなので、友達を増やしたいです。

KFC のボランティア活動も精いっぱい頑張りますので、よろしく願いいたします。

2. 高校入学後にしてみたいこと

私は今年の4月から K 高校総合理学科に入学しました。高校では、学校活動と学習を頑張りたいです。高校の幅広い行事に積極的に参加して、リーダーシップを鍛えたいです。いっぱい友達を作って、いろんな人と高めあいます。

また、入学した学科は、理数のカリキュラムが充実していて、研究する機会も多いです。知識を取り入れ、基礎を作り上げるとともに、好奇心と探求心をわすれず、科学者としての基本を身に着けたいと考えています。

自分の趣味であるプログラミングをもっと深めたいです。

3. 将来の夢

私は将来、世界の優秀な科学者と一緒に、コンピューターサイエンスを用いて地球温暖化を止めたいです。そのために、高校で理数などの勉強に力を入れるだけでなく、できるようになりたいです。私は英検1級を持っていますが、さらに実用化を目的に、TOEFL を勉強するつもりです。そして、京都大学の工学部に進学しようと考えています。

高校での授業だけでなく、自分でも数学の勉強を進めていきたいです。

O さん(14 期生)

『「ナミヤ雑貨店の奇跡」を読んで』

3 月初旬、テストが終わった後、とても暇だったので友達からある小説を借りて読んでいた。東野圭吾の「ナミヤ雑貨店の奇跡」。いろいろなことを知った。たぶん世の中に本当にこのようなおじいさんがいてほしいと思っている人、人生で迷っている時にアドバイスをもらおうということがすごくありがたいと思っている人が多いのではないだろうか。

おじいさんが言った通り、実は全ての選択に悩んでいる人は心の中でとっくに答えがあって、相談はただその選択を後押ししているだけだ。最終的に得た運命はやはりその人自身が一步一步考えを深めた結果なのだ。やはりナミヤ雑貨屋の存在の意味は、心の中の考えをはっきりさせるためだと感じた。

私が印象に残ったのは、児童福祉施設から逃げ出してきた子供に手紙を返信した時だ。自分の心に正直な気持ちを相手に伝える。そして返事を受け取ったばかりの人はまずとても怒って、それからもっと深く思考することになった。実は返信に深い意味はありませんでしたが、返信をもらった人には真面目で理性的に自分の決定を考えて、ゆっくり相手の気持ちを考えるということが出来る機会になりました。結果ナミヤ雑貨屋は子供のために何の決定もせず、全ての選択はその子供自身で決定したものだ。

一方、おじいさんは時間をつぶすため何の関係もない質問や、意味のよくわからない問題、多少ふざけた話も書いていたが、手紙ごとに真剣に答えるようにしていた。このような基礎があるから、だんだん本当の相談数も増えた。おじいさんがちゃんとプライバシーを守っていたから、信頼性は少しずつ増し、ますます多くの人が相談をしにいった。だから逃亡中の3人が何気なく侵入した時、おじいさんと全然違うスタイルだが、以前

からのロコミのため、相談者は心を開いて、普段言いにくいことを話せたのだ。

どうして今は互いに信頼できなくなるのかと考えたら、多分みんなが口をつぐんで、他人もしくは自分の私的な事を他の人に言うと、迷惑をかけるかもしれないと思っているからではないだろうか。だから互いに本音を吐きたくなくなった。

逆に考えると、他の人が私たちに話をしにきた時、彼が私たちが信用していることを説明し、私たちは人にもっと耳を傾けたり、問題を提出したり、アドバイスをあげたり、相手が相手自身の心を正直になれるように相談にのってあげるようにすれば、もっと良い決定をすることができると思った。

世の中にはもっと暖かさや善意が必要だ。

Mさん(14期生)

『ラグビーの基本と感想』

私は自分がしているスポーツ「ラグビー」について紹介したいと思います。

まず、ラグビーというのはとても痛くて、しんどいスポーツです。サッカーやバスケットよりも走らないといけないので、そうとう体力をつけないと前半(30分)ぐらいでバテてしまうので、体力がとても重要になってきます。そして、ラグビーと似ているスポーツというと、アメフトが思い浮かびますが、これはラグビーととても大きな違いがあります。その一つとしてはタックルがあります。アメフトはボールを持っていない相手でもタックルをすることが許されますが、ラグビーはボールを持っている相手のみをタックルすることができます。そしてアメフトでも色々異なる防具を着けないといけないのですが、ラグビーは着けても良いけど、着けなくても大丈夫です。しかし、怪我は自分の責任となるので、パックスは着けない人が多いけど、フォワードならかならず着けた方が良いでしょう。

ラグビーというのは試合時間が長く、前半と後半に分かれます。高校ラグビーの場合のみ 30 分交代です。大学以上になると、基本 40 分になります。

ラグビーの試合終了のコールはノーサイドと言って、敵も味方もなく、健闘をたたえ合えることを指します。一般的に、人を殴ったら、最初に人を殴った方が悪いと考えますが、ラグビーでは殴り返した方が悪いという考えがあり、報復はスポーツマンシップに反するということになります。

防具もつけずに、相手と激しく肉体同士が当たるので、すこしでも心の弱みを見せたらやられてしまいます。しかし、そういう遣り合いの中でも、越えてはいけない一線の手前で踏み止まる意識を持ち続けることが、ラグビーは「紳士のスポーツ」と呼ばれる要因です。

どんなに激しいプレーをしても、相手の急所や頭部を痛めつけたりしないこと、相手を尊重しながら、それと同時に、「勝ちたい」という欲望を貪欲なほどまで、持ち続けないとラグビープレーヤーとして不合格です。

自分はフォワードであるから、フォワードにしか見えないこともあります。例えばフォワードのプレーでもっとも根性が必要とされる「モール」は、相手との体勢を保ちながら姿勢を低くして、相手と力勝負して前に進ませなければならない。もしすこしでも怯えたら、モールが崩れて、ラックになってしまいます。最悪の場合だと、相手の 22m ラインのところで、相手にボールを奪われ、そのままトライされて、せっかく少しづつ陣地を取ったのに水の泡になってしまうことも少なからずあります。その場合、真っ先に責任の取らされるのがフォワードになります。

ラグビーはしんどいけれども、そこに楽しさを覚えないと続けられない、まさに「ドMのスポーツ」です。

Mさん(14期生)**『私が練習しているもの』**

私は、私が最近練習しているものについて書こうと思います。私が最近練習しているものはギターです。私は軽音楽部に入部していて、ギターのパートを担当しています。ギターは中学の音楽の授業で少し習っていましたが、入部当初は楽譜が少し読める程度で速い速度で弾いたり、難しいフレーズは弾いたりすることはできませんでした。

バンドとするギターにはリードギターとバックギターというパートに分かれています。リードギターでは主にメロディーを弾いたり、弦を一本一本弾いたりして、色々な技術が必要になります。そしてバックギターでは、主にギターのコードを弾きます。私が中学で習っていたのは、コード弾きでリードギターはしたことがありませんでした。私の学校では、学校で行われるライブに向けてバンドメンバーを決めて曲を練習していきます。私が最初に出るライブは高校一年生のためのもので、夏休み明けに行われる予定でした。私はリードギターをしたことがなかったし、夏休み明けまでに一曲完成させることは不可能だと思ったのでコード弾きの担当を選びました。そして毎日練習しているうちに夏休みが終わり、もうすぐライブというときに顧問の先生からコロナウイルスの影響でライブが延期になったことを告げられました。そこで私は、コード弾きしか練習してなかったのでこのままだとリードギターが上達しないと思い、自主的に練習を始めました。練習しているうちにだんだん慣れてきましたが、一曲完成させるまでに三か月以上はかかりました。そして十二月頃になり、延期されていたライブはまた延期になり、その後も二、三回延期になりました。そして、やっとライブを実施することができ成功しましたが、一年程同じ曲をしていたので新しい曲がやっと思えるという気持ちが一番大きかったです。そして私は今、次のライブに向けて練習しています。その次のライブは新入生歓迎ライブで、新一年生が入部を決める大事なライブです。そこで初めてリードギターを担当することになりました。ライブでリードギターをしたことはないけれど、とても重要なライブなのでミスはできません。そのために、自主的に練習してきたことを活かして練習を頑張り、ライブを成功させたいです。

Dさん(13期生)**『ベトナムのこと』**

私のルーツであるベトナムについて素敵だと思う所と問題があるなと感じたことを挙げてみたいと思います。まず、近年新しい魅力にあふれた国と注目されているベトナムですが私が、個人的に素敵だと思う所の一番目は物価が安く日本と比べるとお得に買い物ができる所です。例えば、ベトナムでの買い物の定番といえば雑貨類ですが、市場などでは値段交渉が可能な所が多く、店員さんに値切りながら買い物をすることも旅の楽しみの一つですし、多くお得な物が買えるので観光にはすごく良い場所だと思います。

次は食べ物がおいしい所です。ベトナム料理では「フォー」が有名ですが、他にも、「生春巻き」や「バインミー」などおいしい料理がたくさんあります。ベトナム料理は辛くて刺激の強いスパイスがあまり使われていないので日本人になじみやすいと思います。毎日食べても胃もたれがしない優しい味付けになっているのでとても食べやすいです。それに、食事の仕方も「お椀」と「お箸」を使うので日本人もとまどうことなくベトナムの食事を楽しむことができます。

最後は、町に活気があふれ、行くと元気がもらえるところです。人口に対しても30歳以下の占める割合が6割ほどと若い人が多く住んでいる国です。毎年、人口も増加しており、現在9000万人を超えています。街中も活気にあふれて、日本企業の進出も加速しています。最近では、ベトナムもスーパーやショッピングセンターが

増えています。また、バイクの通勤風景もベトナム名物です。日本ほど公共交通機関が発達していないため、道路にたくさんのバイクが広がっています。実際に車よりバイクを使って移動することが多いです。

ですがこれにより、排気ガスがたくさん出てしまい大気汚染、水質汚染、土壌汚染が問題になっていきます。そのため、ベトナムにとって環境を重視した大気汚染の改善に向けて行動していくことが私たちにとって重要になってくると思いました。

Mさん(13期生)

『最近のこと』

僕は、1月の始めに新型コロナウイルスのオミクロン株にかかりました。症状は他の人と比べて軽い方らしいのですが、喉へのダメージは凄まじく、くしゃみや咳はもちろん、欠伸をすると喉が広がって激痛が走ります。そのせいで僕は、22時に布団に入って目を瞑って居たのに、翌日の7時によく眠ることができたくらい、本当に辛い症状でした。嬉しいことに、5~6日くらい立つと体調はよくなり、今は充分元気に過ごせていますが、あの時期は本当に辛かったです。

隔離生活が終わって問題なく生活を送れていますが、少し変わったことが起こるようになりました。それは、昼食直後の時間や、学校から帰ってきた時、寝る前の時に、何の理由もなく気分が落ち込むことが多くなりました。体も動かず、何もしないまま時間がすぎてしまうことがほとんどでした。

そのせいで、勉強や作曲にも影響が出てしまいました。勉強面だと、やらなければいけないことがあるのに、体が動かないせいで進まなかったり、音楽面だと、とても良いアイデアが思いついて、早く作業しないと忘れてしまうのに、体が動かないせいで打ち込めないまま、内容を忘れてしまったり、という影響が出てしまいました。

勉強面で影響が出てしまっていることを両親や先生に相談しようと考えましたが、「ただ面倒くさがってやっていないだけだ」と思われるのが怖くて相談できませんでした。でもこのままだと危ないと思い、母親に相談してみると、その気持ちを受け止めてくれて、病院に行ってみることにしました。

病院で診察を受けてみた結果、血糖値に原因があることがわかりました。

僕の気分が落ち込みやすい時間帯に共通していることは、どれも身体がリラックスしようとする時間帯だということでした。人間は心身ともにリラックスさせるために血糖値を下げようとするのですが、僕の場合その血糖値の下がり具合が、普通の人と比べてとても急なのだそうです。治療方法は、アミノ酸を摂取したり、おかずを先に食べてからご飯を食べたりすると良いそうです。

この方法を試して1ヶ月ほどたちましたが、たしかに最近、落ち込む頻度が低くなってきたなど、感じます。おかげで勉強や自分の作曲活動に打ち込めるようになりました。本当に病院の先生には感謝しています。これからも懸命に治療して、コロナ前のような生活に戻りたいです。

Sさん(12期生)

『冬季オリンピック競技大会』

2022年2月4日~20日の2週間、北京オリンピックが開催されました。

冬季オリンピックです。冬季オリンピックの種目はさまざまです。アイスホッケー、アルペンスキー、クロスカントリー、スケートなどいろいろなスポーツがあります。

今回のオリンピックで私が一番興味を持ったのはスケートです。スケートの中でも男子のフィギュアスケート

に興味を持ちました。なぜかという羽生結弦選手のすばらしさを知ったからです。

初めて羽生選手を見た時はすばらしさを理解できませんでした。しかし今回彼の挑んできたことや、今彼がいる場所(地位)を知る機会があり、なんと偉大な選手なのだろうと思うようになったのです。

羽生選手は「4A」という技に挑戦しています。練習でも成功することは難しく、何度も失敗を重ねてきました。それでも諦めることなく、チャレンジを続け、オリンピック本番で成功できるように頑張っていたのだと知りました。

オリンピック中継を見ている時、私はドキドキしました。「頑張れ、頑張れ、絶対跳べる」そう心の中で思いながら見ていました。

そして、オリンピックですばらしい、美しい4Aを跳びました。

3回目の金メダルを取ることはかないませんでした。4Aに挑んだというすばらしさを知ることができ、応援できました。だから北京オリンピックで男子フィギュアスケートが一番良かったです。

今、中国でも羽生選手はとても人気があります。羽生選手を見た人たちは大騒ぎしています。私も大好きです。大ファンです。生で羽生選手が滑るところ、ジャンプするところ見てみたいと思っています。

四年後はイタリアで冬季オリンピックが開かれます。羽生選手には四年後も出場してほしいです。これからもずっと応援していきます。

その前にコロナが終息してほしいです。

Nさん(12期生)

1.高校を卒業して

高校で過ごした3年間は、私にとっては有意義な学校生活を送れたと思います。

特に力を入れたのは部活動でした。部活動は美術部に所属していて、コンクールや文化祭、個人制作を行っていました。また、三年次では大学の希望先が芸術系大学なので、面接や試験勉強を行っていました。

部活動で力を入れたのは文化祭です。一年次のころ頃の文化祭では、初めての高校での文化祭で緊張しましたが、作品を展示し、無事に文化祭を行うことができました。また、私の作品に顧問の作品に顧問の先生が怖くて驚いたという話は今でも覚えています。二年次での文化祭では新型コロナウイルスの影響で中止となってしまう残念でしたが、3年次では行うことができたのでよかったです。そして、三年次での文化祭では、補任同士での共同制作を行い、最後の文化祭を成功させることができました。

また、部長も務めていて、任命された時は不安でしたが、文化祭での共同制作や部員に指示を出すときなど、部長として仕事を果たせたと思います。

三年間を振り返って、失敗したことも成功したこともたくさんありましたが、自分にとっては学びが多くあった良い高校生活を送れたと思います。

2.今後の進路について

K大学に進みました。アルバイトと学業を両立させながら、大学生活を送りたいです。

3.後輩へのメッセージ

部活動や勉強などで不安な気持ちになったり、大変だと感じることもありますが、自分を信じて無理の無いように頑張ってください!

R さん(12 期生)**1. 高校を卒業して**

高一:新しい学校に入りました。日本語がまだ不十分の僕は、ずっともう一人の中国人の友達と話しています。

高二:高二の時、学校の環境によく慣れました。そして自分が好きな授業もたくさん取れました。多くの新しい友達を作りました。休みの時は、行きたい大学をたくさん調べました。自分の実力を伸ばすために、毎日一生懸命頑張りました。

高三:一番ストレスが多い時だった。資格検定と大学入試をしっかり準備しないといけない。毎日塾へ行って、小論文と面接の事を練習しました。最後には、英検 2 級、日本語能力検定 N2、大学の合格証書全部をもらえました! すごく嬉しかったです。

2. 今後の進路について

自分が外国語勉強の興味がありますから、K 外国語大学に決まりました。これからもあきらめずに、毎日しっかり頑張って、たくさんの経験を積むような未来を行きたいと思います。

3. 後輩へのメッセージ

どんな困難あってもあきらめずに、一生懸命頑張って下さい!